

実験概要

身近な材料を用いて植物の栽培用ポットを作製し、種から育てることができることを確認する。

実験の目的

理科の実験で使う植物を、生徒自らが栽培することによって、植物の成長過程を理解し、実験に適した植物供給できるようになる。

実験材料

- | | |
|------------|-----------|
| ● 栽培用ポット | [ポットの作成] |
| ● 土 | ● ペットボトル |
| ● インゲンマメの種 | ● ヨーグルト容器 |
| ● トウモロコシの種 | ● 錐(きり) |



ポットが手に入らない場合は、ペットボトルを半分に切ったものや、ヨーグルトの空き容器などを使用する。



使用する植物は、生徒が扱いやすい大きさの種子のものを選択する。

実験手順

①ポットの作製



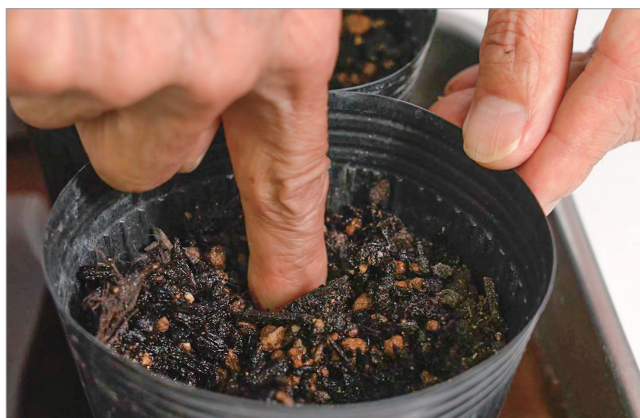
②土を入れる



③水を与える



④種まき



1つのポットに2つの種子をまく。

⑤ 1週間後の様子



発展

- ★ 生活で使った容器を利用して、植物を育てることができる。
- ★ 観察や実験に使う植物を生徒と一緒に育てることで、植物観察の日常化につながり、また教員は計画的な授業準備が可能となる。
- ★ 植物を育てるポットの置き場所を探すのと同時に、学校の中で植物が植えられるスペースも探してみよう。